



日本防災士会広島県支部会報



第50号

平成25年3月28日

(南東部地区活動報告)

【広島県支部南東部地区会議】

日時：3月23日9時30分～12時

場所：三原市館町 ゆめキャリアセンター1階会議室

主催：防災士会広島県支部南東部地区

オブザーバー：三原市危機管理室

出席者：22人

会議は岩崎地区幹事の議事運営のもとに進められた。

挨拶と出席者紹介

- ① 桑木副支部長挨拶：年に3回の会議なので会員相互を知り合う事と実のある会議となることを期待します。現在国家的テーマとなっている東日本大震災の復旧・復興と次に来る「南海トラフ巨大地震」への備えは防災士として取り組む重要なテーマです。本日の会議を通して地域防災に役立つ情報交換や討議を期待します。
- ② 会員自己紹介：各自の住所、地域での活動、役職、防災活動状況、実績、課題などが紹介され、大変参考になり有益なものが多かった。

議題1：24年度の県支部役員会報告（岩崎幹事）

- (1) 「講演依頼ルール」の件：支部では今後防災士会への講演依頼が増えてくることが予想されるのでルールを定め納得できるものとした。支部のルールが説明され、意見を聞いた。結果としてルールは常識的且つ簡潔で、納得できる内容とするべきとなった。なお大きい規模の行政、学校、法人からの講演依頼については地区幹事、役員で協議して受け入れ方法を決定する。
- (2) 「講演得意分野」の件：支部で収録する会員の講演できる得意分野を把握しデータ化することについて参考例を作成説明された。地区で纏めて支部に提出、運用管理される。
- (3) H25年度支部及び地区スケジュール 及び(4)県支部東日本大震災地視察計画が報告された。

議題2：南東部地区役員改選について（岩崎幹事）

H25年度の役員については出席者の賛成を得てH24年度の役員が留任担当することになった。

議題3：25年度会員と名簿確認（細川副幹事）

- ・現在H25年3月24日時点で南東部地区会員は総数64人、メールなしの会員は14人と報告された。メールは会員の連絡手段として有効であると説明された。なお県支部会員総数は112人。

議題4：平成24年度南東部地区活動報告と会計報告（岩崎幹事）

- (1)H24年度南東部地区活動報告（岩崎幹事）
H24年度の地区活動が報告された。防災士複数人が地区内市、町の防災行事を支援した件数

が多かった。資料報告件数の内、6件は日本防災士会へ支部活動として報告された。
(2)H24年度会計報告が佐藤会計担当から報告され了承された。

議題5：H25年度南東部地区活動報告と情報交換（桑木防災士）

新年度の活動について会員の考えや意見、地域の活動予定など情報交換し、参考にしたい。

下記テーマについて意見が述べられた：

- (1)「東日本大震災の教訓を活かす」
 - ・被災実態を知り今後の防災活動を活かす・・・分野が多い
 - ・現地視察、被災者体験談、被災地支援者の感想等など・・・分野が多い
- (2)「南海トラフ巨大地震」を知り、備える
 - ・東日本大震災との比較、地震・津波の怖さの内容を知る
 - ・瀬戸内海への津波の影響を知る
 - ・広島県への被害内容を知る
 - ・命を守る知識、行動を身に着ける
- (3)救急法基礎講習、救急法救急員養成講習の実施（岡田防災士）
 - ・今年度は南東部地区で上記の基礎講習と養成講習を計画する。出席会員の中で受講希望者は十二、三人あった。指導資格者が当地区に3人おられるので地区内で実施できるよう取り組む。
- (4)地域防災訓練・啓発活動の支援
 - ・従来同様地区内市、町で防災訓練や各種啓発活動が企画されれば地区として必要な防災支援は可能です。会員が参加し、レベルを高め担当出来るよう努力、協力する。

会議の様子写真



広島県支部南東部地区防災士会出席者 21名



開催の挨拶と役員、オブザーバー



自己紹介の様子、名刺代りのネームプレート利用



自己紹介とPTAと防災への取り組み紹介



会議の様子、出席者22名（オブザーバー含む）

終わり